

株式会社 AOMI 佐々木加絵氏

島で生活する高校生ならではの視点で素晴らしかったです。
私も島で暮らす中で、天気の良くない日の楽しみ方が増えたらいいなと思っていたので、学校の近くで気軽に立ち寄り、勉強会や映画鑑賞など、多様な文化に触れ学び合える場が生まれることに大きな意義を感じました。
静かにする部屋と声を出して遊べる部屋がしっかりと分けられるといいですね。
八丈の「わ」というコンセプトには、島の人々や文化への愛着がしっかり込められていて、世代や立場を超えて人がつながる空間づくりを目指す姿勢に、今後の島の未来への希望を感じました。面白い物件でしたので、是非実現してほしいと思います！

株式会社日建設計 都市デザイングループ部長 野村哲氏

台風被害で心身ともに大変な状況の中、提案をまとめてくださりありがとうございます。
「空き家で広げる八丈『わ』の家」というテーマは、島民と学生双方の視点が融合した魅力的なコンセプトであり、地域に寄り添う姿勢が伝わってきました。各部屋の改修案も多様な使い方を想定しており、「わ」を形にする工夫が随所に感じられます。立地を生かして大通りに開くことで、島の新たな拠り所となる可能性も大いにあると感じました。学生が運営に関わることで、より魅力的で活気ある場になるはずです。今後も八丈島の課題と可能性を、八丈学を通じて探求し続けてください。

東京都住宅政策本部 民間住宅施策推進担当部長 岩田亮一

台風被害により日常生活も十分に戻っていない中、発表に至るまでには大変なご苦労があったかと思います。生徒の皆さんはもとより、指導教員をはじめ、取組を支えてくださった全ての関係者の方々に改めて感謝申し上げます。

提案では、町職員や島民との意見交換を経て、島の空き家がなぜ増えているのか、その原因を把握したうえで、『雨天時でも活動できる共有スペース』という島のニーズをきちんと捉えられており、大変感心しました。また、学生だけではなく、子育て世帯から観光客・島民まで様々な利用者を想定した多角的な目線で利活用を考えていることにも驚かされました。

東京都としても空き家の利活用を検討するに当たって、地域に寄り添うことの重要性を改めて感じました。生徒の皆さん、どうもありがとうございました。